

# 保育おおさか

平成19年5月1日 第381号

大阪府社会福祉協議会・保育部会  
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

## 平成19年度「ごあいさつ」 「出産・育児応援事業」の実施

大阪府健康福祉部児童家庭室長 水本行彦氏



児童家庭室長の水本でございます。昨年、再び児童福祉行政に直接携わることとなり、水を得た魚のように、元気に、子どもたちや家庭の福祉の推進に取り組んでおります。

また、保育部会の皆様には、日ごろから本府児童福祉行政の推進に格別のご協力をいただき、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

さて、「人口減少・少子高齢社会」の到来が現実になろうとしている今日、少子化対策にこれまで以上に取り組んでいかなければならない状況となっております。「少子化対策に特効薬なし」とよく言われますが、少子化対策には、ワーク・ライフ・バランス、子育て環

境の整備など総合的な対策が必要です。その中で、大阪府では、今年度から、市町村と連携し、出産や子育てを躊躇しない機運づくりを進め、子育て世代に対する応援メッセージとする「出産・育児応援事業」を実施することとしていきます。

保育部会の皆さまにおかれましては、子どもを産み育てやすい大阪の実現に向け、一層のご尽力をいただきますようお願いいたします。

## 「子どもの最善の利益」を念頭に

大阪府健康福祉部児童家庭室子育て支援課長 小原理恵氏



前任の小原（こはら）課長から、子育て支援課長の大役を引き継ぎました小原（おはら）でございます。家庭支援課の大きな部屋から、小じんまりとした、アットホームな？子育て支援課の部屋に引っ越し、新たなスタートをきりました。

少子化等社会情勢の変化に伴い、子育ての負担感や不安感が增大する中、児童虐待やいじめ等子どもを取り巻く問題が深刻化しています。このようなか中、入所児童の支援だけでなく、子どもと親の双方に対し、子育て・子育ての最初の時期を支える重要な役割を担う保育所への期待は益々高まっております。

国においても、「地域の子育て支援の拠点としての機能強化」「保育士の資質向上や保育内容の改善・向上に向けた評価の仕組み」等について、保育所保育指針を見直す検討が始まっています。

家庭支援課での経験や、保育所にお世話になって一層の保護者としての体験も踏まえながら、「子どもの最善の利益」を念頭に「子育て」の課題に取り組みでまいりたいと思っております。今後とも一層のご理解とご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。

### ◇総会の「案内」◇

期日 5月25日(金)

時間 午後1時30分～

会場 大阪府社会福祉

指導センター5階

### 記念講演

厚生労働省児童家庭局保育課

課長 義本博司氏

テーマ「保育の現状と課題」



花便りがあちらこちらで聞かれる春爛漫。子どもたちが元気に園庭を駆け回る姿に目をやりながらやさしい時間が流れる。暖かい日差しの中でふと思いつくのは、旅行好きだった父が「暖かくなったら皆で旅行に行こう」と言っていたあの日の言葉。あれから三年。突然の父の死に戸惑いを隠せない日々が続いた。無我夢中で過ぎてきたせいか、あつという間で月日の流れの速さを感じる。そして何よりも人の心の温もりに触れた毎日だった。たくさんの方に助けていただいたおかげで今の自分があるのだと痛感する。生前父が大切にしていた人との出会い…。残された家族に『心の貯金』をたくさん残してくれた。家族旅行は実現しなかったが、旅行好きの父のことだからきっと風となり世界中を旅しているのだろう。

元気で頑張り”と風になった父がそう囁いた気がした。(M・K)

# 平成18年度 新任保育士研修会

新任保育士研修会が3月27日、29日、大阪府社会福祉会館で、各200人以上の参加で社会人としてのマナーや保護者への対応、保育士としての心がまえなどについて3人の先生が解りやすく話され参加者から感想と決意を寄稿いただきました。



「専門職としての  
保育士にむけて」  
武内茂子氏  
(保育士会会長)



「保育所保育の現状と  
「これからの課題」  
寺見陽子氏  
(中部学院大学教授)



「保育士に求められる  
マナーの実践」  
増田知乃氏  
(人材育成コンサルタント)

## 心のこもった挨拶

一番印象に残っているのは、挨拶についてです。私の園でも『言われるから挨拶をする』のではなく、心のこもった挨拶を自発的にするように指導をいただいています。

「お帰りなさい。お疲れ様でした」の挨拶を聞き、心が安らぐ保護者が

## 受容と共感

社会人として、公私の区別をつけて仕事をする事から始まり、自分と気が合う人・合わない人と態度を変えてはいけないという人としての行動、子どもは一日の大半を保護者よりも、保育士と一緒に過ごしているの

## 感謝と謝罪

「自分の普段の行いは、子どもから真似をされても大丈夫か」という言葉に、子どもたちの前に立つ人間として、見本となる行動・立ち振る舞いをしていなければならぬことを改めて感じました。保護者の方と関わる上では、まず話をしっかりと

おられるのだということを知り、仕事から疲れ果てて帰って来られた保護者に対して、自分の明るい言葉がけと、明るい笑顔が人に喜びを与えることができるのだと感じることができました。

子どもに対する援助だけでなく、保護者に対する心のケアも重要な仕事とされるようになった今、子どもの喜ぶ顔とともに、

ような言葉使いをしないといけないと知りました。また、私が保育士となつて働くうえで、保護者との関わり方が一番心配でしたが、保護者の方も初めての子育てで不安いっぱい相談に来られる心に配慮をし、まずは受容と共感をしてから、具体的に分かりやすい言葉で伝えることが大事だということ。そして、保育士

聴き、受容と共感をする事が大切ということ。その後で自分の考えや思いをしっかりと伝えることで、信頼関係が生れるのだということを理解しました。

保育の専門家として相談に来られるので、たくさん知識を身に付けておき、分からなかった時でも、文献を用意するなどをして、誠意をもった

保護者が喜び安心していただけることのできる保育士となるように日々心がけなければならぬと感じました。それにはまず、明るい挨拶から始めると改めて気づきました。

次に子どもの行動には全て意味があり、意味のないことはないということでした。時間に余裕がなかったり心にゆとりのない時に、子どもが突然

は、いくつかの選択肢を提供するだけであって、押しつけてはいけないということも学びました。

きちんと誠意をもって対応すれば想いは伝わるんだと知り、少しだけ安心しました。毎日元気に挨拶をしコミュニケーションを取っていくことで、信頼関係が生れてくると思います。保護者の方とだけではなく、先輩の先

対応をすることが大切だと教えていただきました。先輩や上司から指導をいただくこともありますが、それは自分を育てようとして下さることなので、感謝の気持ちを持ち、謝罪の気持ちを伝え、自分の中ですっきりとすることが伝わり、自分にとっての成長にもつながるのだと知りました。

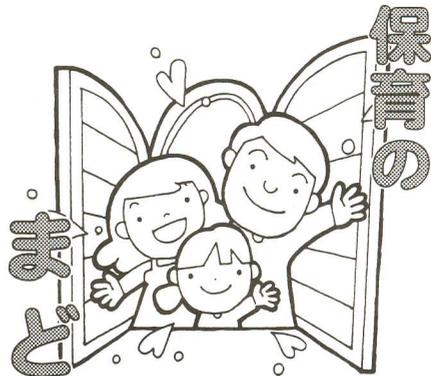
子どもと関わるうえで、「自分の苦手なことを避けていては、子どももそれを経験する機会を無くすことになる」というお話で感じたのは、保育士とは、子どもが育つていく中で、とても大切な役割を担っているのだからと向き合っているのだと感じました。

する行動、言葉を『どうして今するの?!』とつい感情的になってしまいがちです。それは子どもからの大切なサインであると常に頭においておかねばならないと感じました。

いつも気配り、目配りを忘れず絶えず子どものことを考え行動し、元気で明るい笑顔の素敵な保育士でありたいと思います。

生と上手に人間関係を築いていくためにも、社会人のマナーなど、今回の講義を聴かなければ分からなかったことや、一年目の立場、心構えを身につけることができ、不安と心配だったことも、少し緩和させることができました。しっかりと学び成長していくために充実した日々を、送っていかうと思いました。

子どもと関わるうえで、「自分の苦手なことを避けていては、子どももそれを経験する機会を無くすことになる」というお話で感じたのは、保育士とは、子どもが育つていく中で、とても大切な役割を担っているのだからと向き合っているのだと感じました。



13

### 「北摂ブロック」 ちとせ保育園

モンテッソーリ に学ぶ

## 子どものしつけと 親への啓発

今年度の新入園児が25人入園されてきます。

園では、慣らし保育中にマーザーセミナーを実施しています。基本的に全員の方に受けていただいています。

セミナーの目的は、保育方針であるモンテッソーリ教育について理解を深めるのですが、それに合せて子どもとの関わり方についてもお話をいたします。

しつけのポイント等もさせていただいています。が、取り上げて言うまでもない当たり前に伝えていくことが伝えられなくなっている(例えば、お茶碗を持って食べるとか)また、核家族で指摘してくれる方もいないなども



教材にふれて

不可欠となっています。それをきちんと伝えていくことが、しつけとなってくるのです。

保育園は、乳児の時から毎日規則正しく登園してくることが、生活のあり方として、いい習慣性になっていくこともすばらしいことと思っております。

あつて、老婆心ながらしつけについても話させていたいただいています。

園生活の中の生活面の指導全般が、子どもたちのしつけにあたる部分だと思えます。園生活は集団である以上ルール・モラルといったものは、

言うけれど、大人はしていいなどでは、決して子どもの中には、入って行かないものですと、お伝えしています。

しつけは各家庭によって伝えることがいささか異なるように思いますが人の価値観は、異なるものと考えます。それは、日本の文化を兼ね備えて

いると思います。しつけの甘い、厳しいという家庭もありますが、甘すぎると、第三者に不快感を与えるようでは、いけませんし、厳しすぎて子どもたちが、萎縮してしまふと、これまた育ちで問題となってしまう。では、何を基準としたらいいのでしょうか？

## AED設置園をたずねて 救命都市おおさか戦略事業II

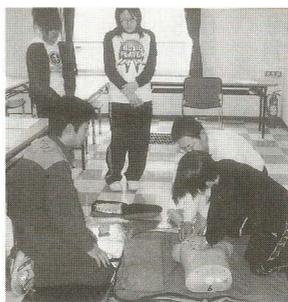
大阪府は救命都市おおさか戦略事業の一環として府管の社会福祉施設に対して府社協を通じ、AED(自動体外式除細動器)の設置に対する助成を行いました。この購入補助金については今年度も申請の受付を行います。昨年度で見送られた施設でも再考いただければと、すでに購入された園を2つ紹介します。



が見える所に図で表示しました(写真上)。学期毎に蘇生と人工呼吸を全体で研修し、各班でも土曜の午後等に機器を出して、使い方を確認しあいます。

「救急車が来るまでどこまでできるか」救命訓練の課題です。

古川園  
AED設置を示すステッカーは表通りと玄関に。使い方は、各階の誰も



### 摂津ひかり保育園

「AED設置が地域社会に貢献できる」との森田副部長談もあり、以前からAED設置を考えていたところ、昨年12月タイムリーに「救命都市おおさか戦略事業」による設置促進制度による助成金が保育所・乳児院でも対象なり、即購入を決め園でもAEDの使い方や心肺蘇生法について講習会を受けるなどしました。(写真右)。

# ブロックだより

19年度の各ブロックによる研修等の事業計画です。(順不同)

## 南大阪ブロック

- 5月 総会・保育士研修
- 6月 大運動会、保育士一泊研修、保育士研修
- 7月 保育士研修
- 11月 新任フォロー研修
- 3月 卒園記念サッカー大会、新任研修

## 河内ブロック(東大阪)

- (事業部会計画)
- 6月8日 第10回わんぱくフェスティバル

## 保育園をたずねて

350

### 大東市 聖心保育園

昭和50年4月開園の定員150人の保育園です。聖心の「聖」は、保育園が太子堂のある縁の地にあり、和をもって尊しとする聖徳太子の教えを伝えていきたいと思っています。

「心」が、失われつつある今、優しさ、厳しさ、たくましい心を育てたいという願いをこめてこの春、24人の新入園児を迎えスタートされました。



空にとどけ

歓迎会では、子どもたちの紹介のあと、先生たちが、竹馬行進、和太鼓を披露。秋の運動会では、竹馬、和太鼓、鼓隊、カラガードを年長組が挑みます。

子どもたちに目で見、手で触れ、多くの経験を通して成長発達していきける適切な環境を作つてあげられるよう、切磋琢磨したいと考えておられ、そして、一人ひとりの命を大切に子どもに育つてほしいと願って保育をされているそうです。

- 1月 事例発表①(2例)
- 2月 事例発表②(2例)
- 3月 年間のまとめ(保育士研修)
- 5月17日 保育園の安全対策
- 6月 乳幼児の体力づくり
- 7月 子どものあそび
- 7月31日~8月1日 芸術教育学校大阪大会
- 9月 リズムあそび
- 10月 絵画で表現しよう
- 11月1日 (主任、園長)一日研修
- 12月 子どもへのことばかけ
- 1月 乳幼児研究発表
- 2月 保育実践力を高める

## 河内ブロック(八尾)

- 6月 保育士研修会
- 8月 園長・理事長研修会

- 11月 保育士研修会
- 2月 東大阪との連絡会

## 北大阪ブロック

- 4月23日 役員会
- 6月7日 総会・理事長園長研修会・懇親会
- 7月下旬 職員研修会
- 9月初旬 第3回子育て支援研修会
- 12月初旬 年末理事長園長研修会・懇親会
- 1月中旬 第4回子育て支援研修会

## 堺ブロック

- (総会)
- 5月15日 (園長研修)
- 5月15日 保育情勢の動向とこれから
- 大阪府立大学教授 人間社会学部 望月 彰先生
- 7月17日 思春期までの育ちを見通して大阪教育文化センター相談員 佐伯 洋先生
- 10月16日 子ども相談所からの報告
- 12月18日 保育所におけるアレルギー対応
- 大阪府立アレルギーセンター 小児科医 亀田 誠先生
- (北欧保育研修会)
- 6月4日~6月11日 ストックホルム ヘルシンキ 22名参加予定

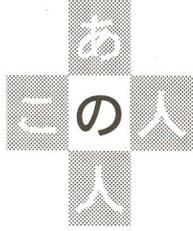
泉州ブロックの川崎孝さん。年下からも「たかつちゃん」と呼ばれても怒ることなく、いつも気軽に返事をし、ニコニコしています。

阪神淡路大震災のときは、大なべとどんを積んで、炊き出しに出かけ、大活躍されました。

保育園のイベントで、釜揚げうどんをお願いすると、その大なべと、うどんを持って駆けつけられます。

毎年共済会の運動会で、そのおいしいうどんが食べられます。

ただし、大きな欠点があります。先輩や後輩を自分が得意なゴルフやマジシャンに強引に誘うことです。魅かれ「たかつちゃん」の周りにはたくさんの方が集まります。



## 泉州ブロック

- (園長研修)
- 6月8日 総会・研修会
- 11月 園長研修(保育士研修)
- 5月12日 総会・記念講演 仮題「心と体を養う音楽レクレーション」
- 6月30日 研修会
- 8月4日 研修会
- 11月13日 講師 平林 智子氏
- 1月26日 研修会 仮題「保育計画の立て方」 講師 今井 和子氏

## 北摂ブロック

- 5月15日 総会・研修会
- 5月27日 第28回職員運動会
- 6月8・9日 職員研修(キャンプ等野外活動)
- 8月 職員納涼研修会
- 10月 役員会 職員研修会
- 11月 園長研修会
- 12月 年末研修会
- 3月 第26回職員バレーボール大会 職員研修会

発行所  
大阪市中央区中寺1丁目1-54  
大阪府社会福祉協議会  
保育部 協議会  
大阪府保育協議会  
TEL (06) 6762-9001

発行人 男 勝  
編集 永野 水